

7月17日(水) 朝礼のお話

世界で2番目に危険な生物

さて、今日のお話です。この世界にはいわゆる「危険な生物」がたくさんいます。あなたも想像できると思います。ではどの生物、生き物が一番危険でたくさんの人の命を奪っている怖い生き物だと思いますか？ベスト3を考えてみて下さい。あなたが思い浮かべたのはライオンですか、サメでしょうか？

世界保健機関や国連食糧農業機関等の世界的な機関がまとめた資料からこの危険な生物ベスト3がわかってきました。今日はそれを紹介したいと思います。

まず第3位です。これはヘビです。日本ではあまりヘビの被害というのは聞きませんね。日本にも毒蛇がいて、被害に遭う人はいるのですが亡くなる方はほとんどいません。でも世界中では毎年5万人もの人が毒ヘビにかまれて亡くなっているそうです。というわけで第3位はヘビでした。

次は第2位ですが、これはちょっと後回しにします。

では1位はなんでしょう？この1位の生物にやられて亡くなる人は他のものに比べてものすごく多いのです。年間で72万以上の人がこの生物にやられて亡くなっています。それは実はとても身近な生き物です。あなたのそばでも普通に見られます。それは「蚊」です。夏になるとブーンと飛んでくるあの蚊です。でもあなたも蚊に刺されますが死んだりしませんよね。実は蚊に刺されただけで死ぬわけではありません。蚊が運んでくるマラリアや日本脳炎、ジカ熱、デング熱といった病気でなくなる人が多いのです。幸いなことにこれらの病気、日本ではあまり流行していません。これらの病気はもっと暑い地域の病気なんです。ですからこれらの地域に住んでいる人にとっては蚊はとても恐ろしくてやっかいな生き物ということになります。

さて最後に、第2位の生き物について考えて見ましょう。この生き物によって世界では年間で47万人以上の方が亡くなっているんです。47万人、すごい数です。西東京市の人口が21万人くらいですからその2倍以上です。さあ、その生き物がなんだかわかりますか？

それはとても残念なことに私たち「ヒト」つまり人間と言う生き物です。人間は殺人や戦争で毎年47万人以上の人を殺してしまっているのです。ヘビにかまれて死ぬ人よりも事件や戦争で亡くなってしまう人の方が多いなんてちょっと悲しいですね。ヘビや蚊によって亡くなる人を0にすることはかなり難しいと思います。でも人間が人を殺すことは人間さえ賢くなれば0にすることが簡単にできますよね。

皆さんが大人になった頃、人間が危険な生物ランキングから外れてしまうような世界になっていたら良いですね。いや、そうしなければいけません。

今日は世界の危険な生物についてのお話をしました。今日も最後までていねいにお話を聴いてくれてありがとう。もうすぐ楽しい夏休みですね。みんなで残りの一学期を頑張っていきましょう。